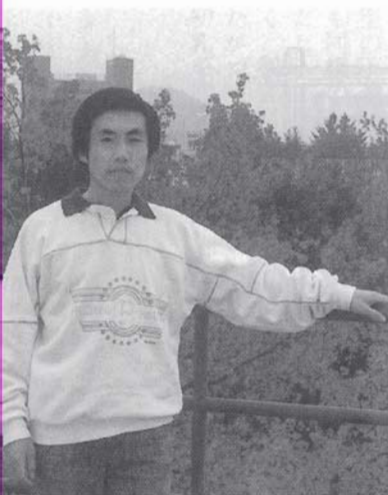


## 私のみた広島印象

社会科学部博士課程後期経済学専攻 2 学年 白 曉 君



私は、中国から日本に来てもう四年になります。そのうち、広島滞在の期間は二年近くになります。広島に来る前は、岡山大学大学院経済学部に在籍していました。

### 広島と岡山

広島へ来る前は、広島は岡山より規模も大きいし、人口も多い、もつとにぎやかなところだろうといった漠然としたイメージしか持っていませんでした。

そして、広島に来た当初は、岡山とくらべてむしろマイナスの印象が強いのでした（もし東京や大阪など別の土地から来たならば、また違った印象を持ったかもしれない）。まず、市内がとても繁雑に思えたこと、住まいがしりぞかた難しかったこと、大学の研究室が狭いこと、図書資料や研究施設を利用することも便利ではないこと、などでした。

ちょっと数字を調べてみると、広島市の人口は約一〇五万人に対して岡山市の人口は約七〇万人と一・五倍の規模がありますが、面積が広島市の方が広いので人口密度は双方とも一平方kmあたり一四〇〇人程度とあまり変わりません。にもかかわらず、私が広島街にはじめ繁雑とした印象を持ったのは、広島の平地の少なさにその理由の一つがあるようです。広島では山がすぐ近くまで迫っているのに岡山は平地がほとんどです。平地が少ない分、家賃も高くなるようです。物価も魚以外は岡山の方が低かったようです。留学生にとっては岡山の方が経済的に暮らしやすかったと思われまます。

### 変わってきた広島印象

ところが、時間がたつにつれ広島に対する印象が段々と変わってきました。大学の研究室の狭さに対する印象などは変わりますが、広島街に対する見方が変わってきました。数字にあらわせないところに広島街の良さがあると思うようになりました。

まず、広島の人々の平和を求める気持ちの強さは心打たれるものがあります。もちろん、平和を追求することは広島の人たちだけでなく日本人たちすべての心の声だと思えますが、広島ではその声がよく聞こえるように感じるので。私は、中国人とし

てその声をもつと中国の人たちに伝える必要があると考えます。

また、国際化の推進をかなり重視しているということも重要な点です。アジア大会の開催はもちろんですが、それ以外のあまり目につかないような点でも、例えば留学生に対するバックアップがかなり充実しているように思えます。留学生のためのいろんな制度が設立されていますし、いろんな手続き面でも簡素化されているようです。

### 広島街と広島大学

以上、私の広島街に対する印象が段々と変わってきたことを述べてきました。ただ、気になるのはこの街と広島大学の関わりがやや希薄に感じられることです。たとえば、各学部がいろんな地区に点在しており、街が先にあつてそのなかで余裕のある場所に大学が配置されたという感じがぬぐえませんが（もちろん広島大学の設立の経緯は理解できますが……）。大学から街に働きかける、あるいは大学が街をつくりだすという感じが弱いように思えます。

将来、西条地区に統合移転が完了した後、新しい街と広島大学がどのような関係を作っていくのかということとともに、広島街にとって広島大学がどのような存在であったと評価されるのか、気になる場所です。

ハロイニイ  
今日はいは！你好！